

※令和5年4月現在

# 久米島高校魅力化プロジェクトの概要



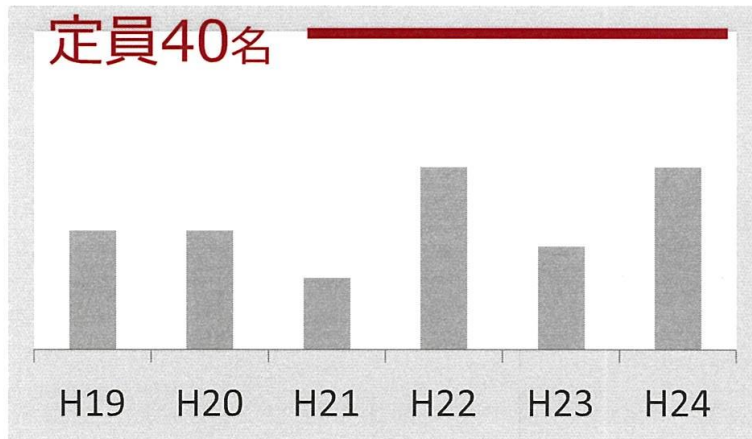
## 魅力化プロジェクトが始まったきっかけ

### POINT

#### 園芸科の定員割れと島内進学率の低さ

##### ●園芸科の定常的な定員割れ

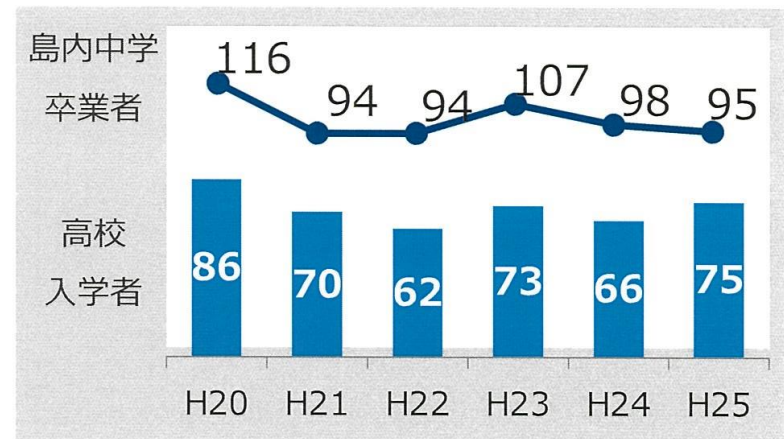
久米島高校の園芸科は40名定員に対して、その過半数を割ることが増えていた、加えて島内でアンケートを取ったところ、普通科を希望する生徒がほとんどだった。



入学者数の過半数割れが続く

##### ●島内進学率の低下

久米島には中学校が2つ。その両中学校卒業生の3割程度が久米島高校ではなく、島外の高校を選択していた。進学理由は大学進学や部活など様々。



島内中学卒業生の3割が島外の高校に

## 高校魅力化プロジェクトの経緯

### POINT

## 2009年に沖縄県教育委員会より『園芸科廃科』の提案

### ▶2009年

沖縄県教育委員会より『園芸科廃科』の提案がなされる。

⇒町民（行政・各団体など）による「久米島高校の魅力化と発展を考える会」発足  
署名活動や廃科反対の決議、総決起集会などを行い、県に要請

### ▶2012年

「平成25年度で募集停止」が「平成28年度で募集停止」に延期。

以降延期が続き、現在は入学者数の推移や地域の実情等も踏まえつつ状況を注視するとなっている。

### ▶2013年

魅力化コーディネーターを配置し、魅力化プロジェクト発足。  
ハワイ交流もスタート

### ▶2014年

離島留学第1期生が入学

### ▶2015年

公営塾「久米島学習センター」設立

### ▶2016年

町営寮『じんぶん館』設立



## 高校魅力化事業の「3つの柱」と地域に広がる取り組み



ハワイ交流（オンライン）

### 1 地域に関する学び

- ・ 地域と連携した学び
- ・ 国際交流（ハワイ等）
- ・ まちプロ、キラ人講話



ハーリー



島親制度

### 2 離島留学

- ・ 町営寮での生活
- ・ 島親制度（身元引受人）
- ・ 島内生との交流
- ・ 伝統文化の継承



離島留学制度

### 3 公営塾

- ・ 自立型学習
- ・ 入試対策
- ・ 個別指導
- ・ ゼミ形式



公営塾



\*まなびや（中学生支援）

#### \*中学支援「まなびや」

- ・ 授業支援
- ・ 基礎学力向上
- ・ 放課後の居場所づくり

## 1 地域に関する学び

### ●島の課題に解決策を提案『まちづくりプロジェクト』

地域人財から講師派遣を行い、様々な分野の実情を知り、グループそれぞれに課題テーマを決めて解決策を考える。その過程では、地域に出てアンケートを取ったり、情報を求めに行くこともある。探究された解決策は、町長をはじめ各分野から審査員、そして全校生徒へ発表が行われる。



### ●久米島とハワイ島の関係による『ハワイ交流』

平成25年度から始まった、久米島町と姉妹島の提携をしているハワイ島にあるコナワエナ高校との交流事業である。以前は、交換留学も行なっていたが、現在ではオンラインを中心に交流を行い、語学力や国際的な視野を培っている。



## 2 離島留学制度

### POINT

多様な価値観を持つ離島留学生と交流し、自分自身の視野を広げる

離島留学制度は平成25年に始まり、全国から久米島高校への入学志望者を支援している。昨年度までに7期生を送り出し、今年度入学で10期生を迎えた自治体独自の制度である。現在、全国各地からやって来た離島留学生26名が町営寮に在籍している。\*全校生徒の10%強にあたる部活動を立ち上げたり、生徒会活動や校外探究活動を行ったりと、これまでの島外生たちは積極的な生徒が多く、島内生に良い刺激を与える存在となっている。また、地域催事に出店したり、地域清掃や伝統行事にも参加し、島の住民と触れ合う機会も多くある。

#### ●町営寮『じんぶん館』

離島留学生が生活している寮。『自ら探し、選び、決断する』をモットーに生徒の自主性、主体性を引き出せるような運営を心がけている。

運営：館長、ハウスマスター3名配置

寮費：4万2千/月



## 離島留学生の在籍状況

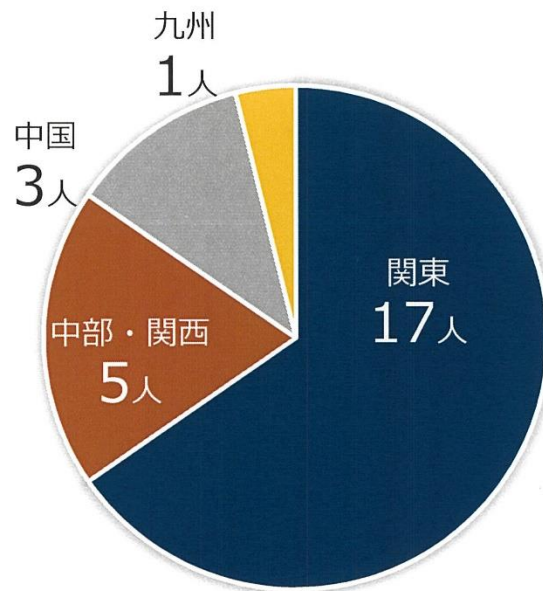
【男女別】

	男子	女子	合計
1年生	5	5	10
2年生	4	3	7
3年生	4	5	9
合計	13	13	26

【学科別】

	園芸	普通	合計
1年生	4	6	10
2年生	0	7	7
3年生	2	7	9
合計	6	20	26

【出身地】



【2023年4月現在】

## ● 出身県別

茨城2	大阪1
千葉2	兵庫2
東京5	広島2
神奈川2	山口1
埼玉6	福岡1
静岡2	

### 3 公営塾 【久米島学習センター】

#### POINT

#### 習熟度に合わせた個別指導と独自のゼミ授業

##### ●習熟度に合わせた個別指導

学習センターに通う生徒の学力レベルは様々。大学進学を目的とする生徒もいれば、学校の定期テスト対策を行いたい生徒もいる。生徒個々のニーズに対応するために、参考書や映像授業等から一人ひとりに適した教材を選択、レベルに合わせた個別指導を行っている。

##### ●新しい入試に対応するゼミ授業

『ちゅらゼミ』と『個人ゼミ』の2種類のゼミ授業を行っている。ちゅらゼミは変化の激しい時代を生き抜くために社会人基礎力を身につけることを目指している。個人ゼミは推薦AO入試のために、一人ひとりの思いに寄り添い、志望理由書作成等をサポートしている。



公営塾の様子

#### 【学習センター基本情報】

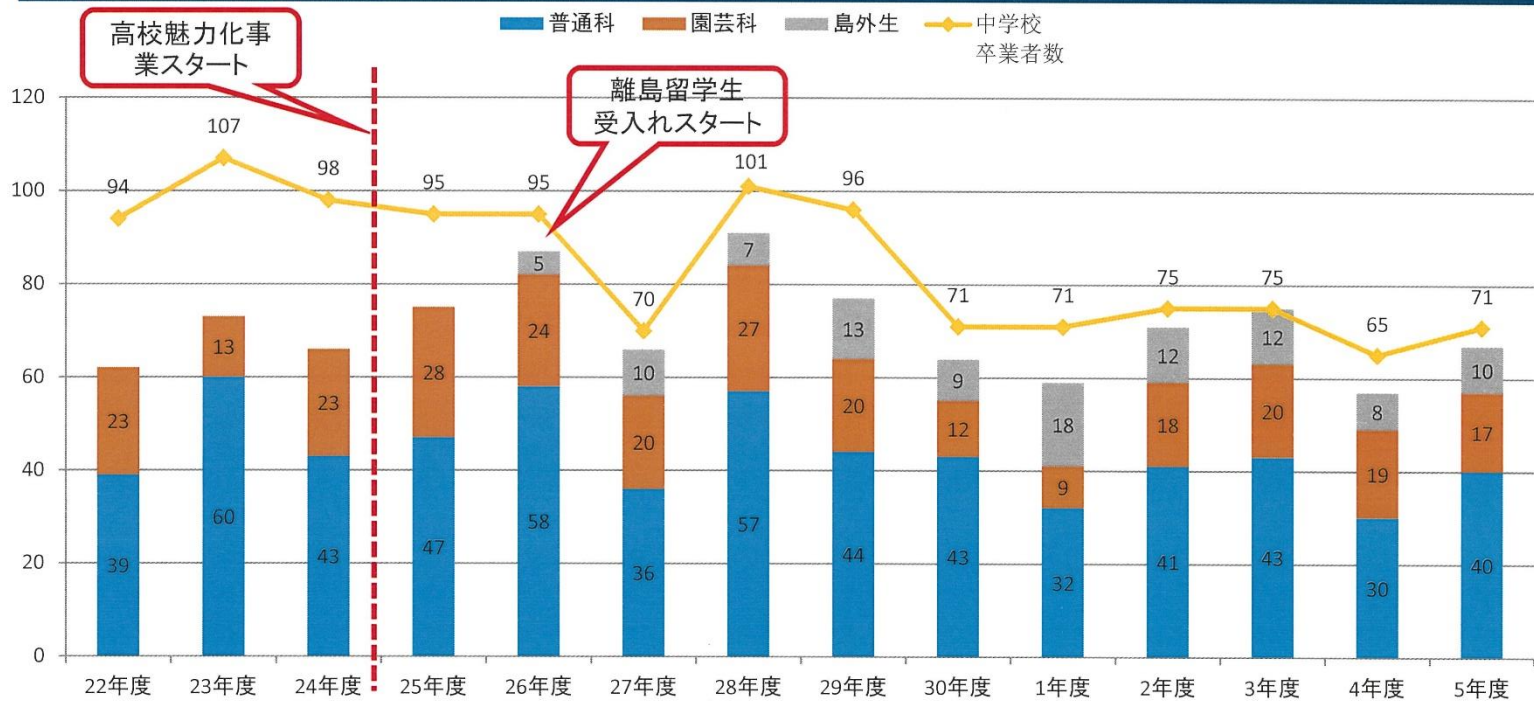
場所 : ほんのもり1階  
開校時間 : 14時～21時  
対応科目 : 基本的に全科目、小論文  
通塾回数 : 制限なし  
月謝 : 3,000円/月  
塾スタッフ : 5名体制



## 高校魅力化プロジェクトの成果

### POINT

魅力化事業が始まって以来、島内進学率が70～80%前後で推移



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
島内からの入学者数	66	75	82	56	84	64	55	41	59	63	49	48
島内からの入学率	67%	79%	86%	80%	80%	71%	77%	71%	80%	82%	75%	66%

## 高校魅力化プロジェクトの成果

### POINT

#### 離島留学生のネットワーク、大学などへの進学、島内就職

##### ●広がる離島留学ネットワーク

久米島高校に入学した離島留学生はのべ90人程。卒業した生徒の中には、「将来は島に戻ってきて町に貢献したい」と語ってくれる生徒もいる。また離島留学生保護者の方々も東京で行う離島留学説明会に手伝いで来てくれたり、久米島を支えるネットワークが徐々に形成されている。

##### ●国公立大学や有名私立大学合格者を輩出

昨年度は、名桜大学や長野県立大学など国公立大学に4名が合格し、県内私立大学をはじめ東海大学など有名私立大学にも多数合格している。

近年、久米島高校でも大学を目指せる環境があると認知されてきている。



令和4年度卒業 離島留学生



高校前の横断幕

## 魅力化プロジェクトの課題と今後

### ■ 島内中学生の減少と離島留学生受け入れ数の限界

島内の中学生数は減少傾向にあります。離島留学志望者は受入定数以上の申し込みがあります。昨年度は25名の応募があった。入学者数の確保のために寮の増設を求める声はあるが、町の財政負担は多大であり定員をこれ以上増やすことが難しいのが現状である。

入学年度	志願者数	入学者数	入学年度	志願者数	入学者数
2014	5	4	2019	30	13
2015	7	7	2020	29	14
2016	6	6	2021	33	10
2017	16	12	2022	11	7
2018	16	9	2023	25	10

### ■ 島内進学率の担保

島内進学率についても高校魅力化の取り組みの一つである離島留学制度開始以前（H18～H26）は平均で71.8%であったが、離島留学制度開始以降のH27以降は平均で75.8と4ポイント増加した。本プロジェクトが発足して10年目を迎えるが、原点にある「地域との協働による魅力ある高校づくり」について知らない中学生および保護者もあり、この取り組みを継続して周知していく必要性を感じている。

## 魅力化プロジェクトの課題と今後

### ■ 誰にとっての魅力化なのか

地域との協働による魅力ある高校づくりは、生徒や高校に加え、地域の未来もよりよいものにしていく可能性を秘めています。まずなにより生徒たちにとっての魅力となりますが、それだけに留まりません。

生徒が「ここで学びたい」「この学校で本当によかった」と思うとともに、保護者も「ここで育ててほしい」、教職員も「この学校で働きたい」、そして生徒や学校を支える地域の人々も「この学校に協力したい」と思うような魅力ある学校づくりを、地域とともに進めていくのが高校魅力化の目指すところです。